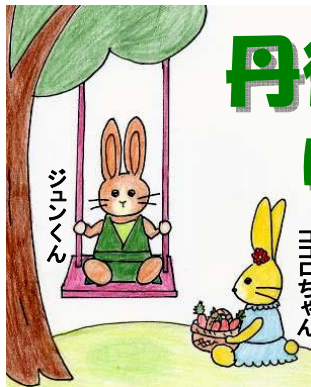




丹後地域 リハビリ通信

第4号

～うさぎのブランコ～

丹後地域リハビリ

検索

編集／発行

丹後地域リハビリテーション支援センター
 (京丹後市立弥栄病院 リハビリテーション科内)
 〒627-0111 京丹後市弥栄町溝谷 3452-1
 TEL&FAX: 0772-65-2018
www5.nkansai.ne.jp/off/tangosien

<事務局>

京都府丹後保健所 (丹後広域振興局健康福祉部)
 〒627-8570 京丹後市峰山町丹波 855
 TEL 0772-62-4312 FAX 0772-62-4368
www.pref.kyoto.jp/tango/ho-tango

～ ご挨拶 ～

京丹後市立弥栄病院が丹後地域リハビリテーション支援センターの指定を受け、7年目に入ろうとしています。当支援センターが実施するリハビリ訪問相談は、地域の関係者の方々の御理解をいただき、多くの方々にご利用いただいています。当初は当支援センターのみで対応していましたが、平成20年度からは与謝野町内の通所事業所である丹後福祉応援団「生活リハビリ道場」のご協力をいただくことになり、現在は宮津与謝方面の訪問相談も増加してきています。また訪問相談は理学療法士だけでなく、言語聴覚士も対応するなど皆様のご期待に添えるよう充実を図っています。

研修会や事例検討会も毎回、会場一杯になるほどの大勢の方のご参加をいただき、好評をいただいています。講師陣も地元セラピストの方々のお力をお借りし、まさしく丹後地域のリハスタッフのネットワークによりリハビリ推進事業に取り組んでいると言えます。地域における関係者間同志の連携は、まだ課題は多いものの、日頃の活動を通じて、顔の見える関係が築かれ、少しずつではありますが前進しているのではないかと考えています。

今後も引き続き、在宅生活等の支援に向け、皆様にお役に立つ事業を企画していきたいと思っておりますので、今まで以上のご支援、ご協力をお願いします。

丹後地域リハビリテーション支援センター (京丹後市立弥栄病院内 理学療法士 岩井 潤)

平成21年度 丹後地域リハビリテーション事業 研修事業報告

<研修会>

【第1回】 11月 4日(水) 36名参加

- ◆講演「糖尿病の新しい治療」
講師 府立与謝の海病院 木暮内科医長
- ◆実践報告と実技指導
「糖尿病患者へのフットケアの現状と課題」
講師 綾部市立病院看護部 村上糖尿病療養士

【第2回】 11月10日(火) 61名参加

- ◆講演「当病院における摂食・嚥下障害者への支援」
講師 京丹後市立久美浜病院 山田医師

【第3回】 11月13日(金) 81名参加

- ◆実践報告と実技「お風呂からはじめる業務改善」
講師 老健ふくじゅ 岡野 理学療法士

<事例検討会>

【第1回】 8月18日(火) 46名参加

- ◆講演「認知症の診断と包括的治療」
講師 府リハビリ支援センター武澤センター長
- ◆事例報告「気持ちよくお風呂に入る」を目指して
報告者 老健ふくじゅ 井上作業療法士

【第2回】 2月19日(金) 50名参加

- ◆講演「進行性核上性麻痺の病態・治療とリハビリ」
講師 竹村 学医師
- ◆事例報告「進行性核上性麻痺患者の在宅療養支援」
報告者 天の橋立訪問看護ステーション
三輪看護師・小倉理学療法士

<地域リハお気軽サミット in 丹後>

平成22年3月4日(木) 84名参加

- 【内 容】 ●ビデオ上映
●実践発表(3施設)
●福祉用具展示・口腔ケア相談

【ビデオ上映】

「劇でみる介護のお悩み解決法」と題し、丹後福祉応援団生活リハビリ道場スタッフが介護現場で良くあるお悩みをコントタッチで演じる介護劇。

スーパー奥様マツコさんに扮する松本理学療法士が解決法を解説。

【実践発表】

- 「褥瘡委員会の取組から
～チームアプローチを実践して～」
報告者 老健リハ・ヴィラなぎさ苑
岡田副主任
松本理学療法士
- 「ずっと元気で生活するための憩いの場
～意欲を引き出す生活リハ～」
報告者 ねもとリハビリテーション株式会社
根本理学療法士
- 「京丹後市における認知症患者支援の取組
～徘徊搜索模擬訓練を中心に～」
報告者 京丹後市地域包括支援センター網野分室
池部主任保健師

リハビリ訪問相談報告



利用して良かったとの声が届いています。



【相談件数】 33件

相談者別:介護支援専門員30 理学療法士2 家族1
地域別別:宮津市5 京丹後市17 伊根町3 与謝野町8
疾患別:脳血管障害7 整形外科疾患9 認知症3
難病3 その他11
相談内容:在宅でのリハビリ指導 24件
住宅改修8件 リハビリ相談1

<利用のポイント>

【対象】介護支援専門員、看護師など

【内容】施設や在宅でのリハビリ、住宅改修などの相談、何でも気軽にご相談ください。

【担当】（京丹後市）地域リハセンター岩井理学療法士（宮津・与謝）生活リハビリ道場松本理学療法士

【受付】両地域とも丹後地域リハビリ支援センターへお申し込みください

(TEL&FAX 0772-65-2018) (E-Mail tangosien@mxn.kansai.ne.jp)

平成22年度年間行事予定

地域リハビリ技術研修会

(6月頃)

介護者・当事者のための生活リハビリテクニック
を学ぶ技術研修会です。

2011 お気軽サミット in 丹後

(1月頃)

「お気軽」がキーワードの実践交流会です。
職場で役立つ楽しい企画を計画中。

事例検討会 年3回

(8月頃・11月頃・2月頃)

地域のスタッフの方から事例提供をいただき
多職種協働で支援方法を探ります。

難病従事者研修会（摂食・嚥下）

(10月頃)

摂食・嚥下に関する知識を深める研修会
支援のポイントを学びます。

情報提供書様式を修正しました。

病院から退院される患者様等のリハビリ情報を関係者間で共有し、支援に活かしていただくため、運用試行していただいたリハビリ情報提供書の一部（様式1）をこの度修正し、本格運用をスタートします。なお、様式は丹後地域リハビリ支援センターホームページからダウンロードできます。介護支援専門員からリハビリ連携窓口にご連絡をいただき御活用ください。連携の状況についても御意見をお寄せください。



株式会社リハビリテーション情報設計書（様式1）

____年 ____月 ____日

病院にリハビリテーション情報提供の依頼をする

貴施設名・貴施設
〒 _____

貴病の病名（病状）を教えてください。

日									
月									
年				月	年	月	日	（歳）	

必要な項目にチェック（しる）をうつる（な）

□	病名（病状）									
□	発症日	年	月	日	入院日	年	月	日		
□	リハビリ開始 （入院・退院時）									
□	今後、リハビリを 継続してほしい リハビリ内容									
□	本人・家族の思い									
□	活 動 状 況	／	状 況	施設情報						
		食事	自立：一部自力・自力、その他 （食事介助・補助・リハビリ食、食事観察等）	継続可否（必要）						
		排便	自立：一部自力・自力							介与：一部（排泄・更衣等）
		歩行	自立：一部自力・自力、その他							
		移動	自立：一部自力・自力、中～重（リフト）等							
		入浴	自立：一部自力・自力、その他 （浴槽・お風呂等 必要（スリッパ・椅子）							
□	生活・行動上より注意すべき事項									

本人の同意（同意）（有・無）
上記の依頼内容の提供をします。承諾しない場合は記入を中止してください。

署名・記入者 _____
印 _____

（印刷用紙はリハビリテーション情報設計書）



うさぎの小窓

編集者から皆様へ

今年度もあっという間に過ぎてしまいました。今年こそ目標を定めて頑張ろうと意気込むのですが途中で息切れ状態。この通信もこの時期にやっと発行となりました。来年度はタイムリーな話題や地域での活動を掲載し、皆様に愛され、ネットワークづくりに役立つ通信となるよう頑張ります。関係者のみなんでより良いケアの提供や地域づくりが進められるよう研修会を開催しますので御参加をお待ちしています。皆様からの情報提供もお待ちしています。連携の状況等でお気づきの事も事務局までお知らせください。